

ナマステ

特定非営利活動法人

自然文化誌研究会 会報誌

101号

2010 年 9 月 20 日発行号

猛暑を過ぎたらあっという間に秋の気配！！

暑い夏でした。アワやキビなどの雑穀は乾燥に強いことを本当に実感できる夏でした。

夏のキャンプ前から終わった後も、多くのスタッフたちが残ってくれたキャンプ場はにぎやかでした～。

既にきのこシーズンがはじまっています。あっという間に秋です。「きのこ鍋」が恋しい季節になりました♪



ELF 研修会 沢登り(7 月小菅村)



8 月 ログハウス屋根で昼食



7 月 源流での登山道整備(甲武信岳)

—— INCH NEWS ——

※「INCH」とは、自然文化誌研究会の愛称です。

○今夏の活動も無事に終了～！！

ELF 研修会、こすげ冒険学校、やまめ・いわなキャンプ、登山道整備、タイ環境学習キャンプなどなど、今夏の活動を無事に終了しました。

ハチによる被害が 1 件ありましたが、経過も順調でホッとしています（ハチの巣を多く駆除した夏でした）。

○大竹孝宏くん、針谷ゆきさん、結婚おめでとう♪

学芸大学卒業後に小菅村に移住した大竹くんも結婚です。大竹くんは現在、故郷の新潟県で小学校教員として活躍中です♪

○菱井優介くん、鈴木美也子さん 結婚おめでとう♪

本会の事務局として活躍した菱井くんが 10 月 31 日に結婚式をすることになりました。おめでとう～♪

ナマステ 101 号 —もくじ—

秋～冬の活動のご案内	2
活動の報告	5
新連載 植物と人々の博物館	7
新連載 小菅村の動き	8
事務局だより	10



今回も KIDS 会報は見送りのようだなっ！！

■ 活動案内 ■

その1 のびと講座「きのこキャンプ」 10.16~17(1泊2日)

今年もきのこを満喫しましょう！！

秋の恵みを満喫するキノコ採りにぜひ参加しませんか？多摩川源流小菅村で、山に入ってキノコを探します。

収穫したキノコは鑑定した後、料理をしながらいただきます。一緒に秋の味覚を楽しみましょう！！

※状況により、採れる種類が変わりますぞ！！



日程：2010 年 10 月 16(土)～17 日(日) 1 泊 2 日

宿泊：キャンプ場にてログハウスかテントです。

対象：中学生～一般 15 名 ※ 小学生は要相談

費用(お一人)：会員 ￥10,000 非会員 ￥12,000

※宿泊費・食費、保険代などを含みます。

締め切り・お申し込み：10 月 12 日(火)までに事務局までメールかハガキに住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢(学年)を書いてお申し込み下さい。



その2 のびと講座「ふたご座流星群観望会」12.11~12(1泊2日)

師走は、満天の星空と流れ星を眺めながら・・・

3 年前に開催した「のびと講座 ふたご座流星群観望会」を冬の小菅村で開催します♪

冬の小菅村で天体観測しませんか。天体の撮影にも挑戦しましょう。今年もちょうど、「ふたご座流星群」に出会うことができます。

寒さの中、天体への意識が高まりますよ♪



日時：2010 年 12 月 11～12 日

場所：小菅村の空が広く、真っ暗な場所

宿泊：キャンプ場にてログハウス(暖かいです)

対象：中学生～一般 10 名 ※ 小学生は要相談

費用：会員 9,000 円 非会員 11,000 円

※宿泊費、食費、保険代、教材費を含みます。

講師：中込貴芳 本会副代表理事

内容：日中に観察のポイントや天体の話、天体写真講座を行います。夕刻～深夜まで流星を楽しみましょう。夜食は暖かい鍋でも囲みます。翌日は遅めの朝食、温泉で冷えた体を温めて帰ります。

※ バルブか数十秒までの露出ができるデジタルカメラまたはフィルムカメラ(フィルムカメラの場合 ASA400 以上のフィルム)、三脚をお持ちの方は、ご持参ください。

その3 冒険学校「まふゆのキャンプ」 12.25~27(2泊3日)

今年も・・・タイカン（体感・耐寒）キャンプやります!!

毎年恒例の冒険学校「まふゆのキャンプ」を体験して、暖かいお正月を迎えませんか？

小菅村ではお正月の準備がもう始まる頃です。日中は、村内を自由に動き、お正月の準備を見に行ったり、村の中でもちょっと面白いところに行きましょう。

焚火・薪割り・ドラム缶風呂・ナイトハイク・星空観察・アウトドア料理・滝探検・・・その場で思いつく限り、いっぱい遊んで、食べて、寝る。そんなキャンプです。個性あふれるスタッフがみんなの参加を待ってます。

冒険学校
まふゆの
キャンプ



囲炉裏でバームクーヘンづくり



キャンプ場の整備も兼ねて間伐体験



薪割りも自分たちでやります！

日 程：2010 年 12 月 25 日（土）～27 日（月）

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テントまたは野宿またはログハウス

集 合：12 月 25 日 JR 青梅線奥多摩駅

解 散：12 月 27 日 JR 青梅線奥多摩駅

対 象：小学校 3 年生～中学校 3 年生 20 名

参加費：会員 ¥20,000 非会員 ¥22,000

（奥多摩駅からの交通費・食費・宿泊費・保険代などが含まれます）

申込み：ハガキ・もしくは E-mail に住所・氏名・年齢

（学年）・性別・電話番号を記入の上、12 月 10 日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。



お正月へ向けて餅つきもやりますよ♪

その4 冒険学校・農学校などなどにぎやかな「同窓会」のご案内 11.6(土)

光陰矢のごとし一月日の経つのは早いもので、子どもたちがいつの間にか高校生・大学生になって、INCH キャンプやちえのわ農学校でスタッフをしている姿を見ると、「いい仕事しているんだな～」と、時にはグツときたりもしてしまいます。ということは、自分たちもそれぞれに歳を重ねている訳で、結婚する人もできたりもしています（今年は結婚ラッシュでした）。



2004 年頃 パン窯にて

そんな中で、「たまには同窓会を開催しよう！！」ということになりましたのでご案内します。INCH、農学校に関わった皆様はぜひぜひお集まりくださいませ♪



今年成人式を迎えます(は〇むくん、た〇みくん)

日 程：11 月 6 日（土） 11:00～15:00 ※大人の方は延長戦を予定しています。

場 所：東京学芸大学附属環境教育実践施設内 彩色園（農場ですよ）

対 象：どなたでも OK です。保護者の皆様もぜひぜひにご参加ください。 100 人ぐらいかな？

参加費：中学生以下 100 円 高校生～大学生 500 円 大人 1,000 円 食べ物・お酒の差し入れも大歓迎！！

申込み：当日参加 OK ですが、材料準備のため 1 週間前までに事務局までご連絡をお願いします～。

内 容：同窓会ということで、にぎやかに、のんびりで行いたいと思います。これまでの活動の様子をスライドで流したり、お酒を飲んだり、ご飯をつくりながらの交流会にしたいと思います。新婚カップルたちによる余興を予定していまのでお楽しみに！！



この人が余興やる予定です～♪

※今年度の活動に参加していただいた方には写真データをプレゼントする予定です。当日に来られない方には後日、郵送するようにします♪

その5 ログスクール(ログビルダー養成講座)再び！！ 週末の小菅村

年内の『ログビルダー養成講座』の予定はありせんが、ログハウス第 2 弾を建設中です！隔週の週末で作業を進めております。

ご興味のある方は事務局までぜひぜひご連絡をください。一緒にチェーンソーを動かしながら汗を流し、温泉に入って、熱い熱い週末を過ごしませんか！？



活動報告

その1 「こすげ冒険学校」報告

7.30~8.4(5泊6日)

参加者が少なくなっていますが、毎年恒例の『こすげ冒険学校』を開催しました！

これまで参加者だった新高校1年生がスタッフとして多く協力してくれることになり、事前にスタッフミーティングを行いました。佐々木村長を中心に多くのプログラムを達成でき、次回につながるキャンプとなりました。



「仏舍利」へ1泊2日の小集団行動

今後も若いスタッフの養成に力を入れていこうと実感しています。(事務局)



囲炉裏でのキャンプ生活。5泊は鍛えられます。



川遊びと五右衛門風呂を繰り返します♪

その2 「のびと講座 源流での登山道整備」報告

7.24~26

13年目を迎える「源流での登山道整備」。今年は参加者6名で、甲武信小屋に宿泊しながら、小屋周辺の整備を行いました。



夏のきのこも発見しました♪

その3 「冒険学校 やまめ・いわなキャンプ」 8.7~9(1泊~2泊)

『やまめキャンプ・いわなキャンプ』では多くの参加者を迎え、活動を行いました♪



小菅村の加藤源久さんに川遊びの案内をしていただきました。



ご飯づくりでは、ヤマメのさばきも体験しました。



沢登りの最中に淵で、スコップを発見！！



ご参加・ご協力ありがとうございます！ 来年も待ってます♪

その4 「ELF(のびと)研修会(CONEリーダー養成事業)」 7.3~4

「みなかみ雪中キャンプ」で一緒している「三菱UFJ環境財団」による東京学芸大学寄附講義「多彩なアプローチによる環境学習」と連動して、「ELF 環境学習中堅指導者(のびと研修会)」を開催しました。本会の「のびと研修会」と同時に、「自然体験推進協議会(CONE)」の「CONE リーダー」取得も同時に行っています。寄付講義の中で、理論を学び、小菅村で実技を中心とした1泊2日のカリキュラムを行いました♪



小菅村消防署による救急救命講習会



囲炉裏を囲んでの講義



ヘビも夕食にいただきました。

『植物と人々の博物館』

昨年 9 月に、「日本エコミュージアム研究会第 15 回全国大会」を小菅村で開催しました。現在、「エコミュージアム日本村構想」を進めています。

「エコミュージアム」とは、簡単に説明すると、地域全体が博物館ということです。展示物だけでなく、その地域で継承されている、自然と文化、生活、技術、そして「人」など、生きているもの全てが博物館であるということです。

その中で、小菅村中央公民館を「植物と人々の博物館」＝「コアミュージアム」として、東京学芸大学、小菅村と連携して整備を進めています。

自然文化誌研究会も協同していますので、活動内容を今後、紹介していきたいと思います。（事務局）

＜雑穀見本園～収穫の時期＞

本会が小菅村に拠点をもってから 7 年目になります。その間、「雑穀見本園」として、キビ、アワ、タカキビ（アカモロコシ）など、小菅村で伝統的な雑穀を栽培してきました。今年も 8 月～9 月にかけて収穫しています。



キビの収穫(8 月 21 日 中組地区)

雑穀栽培は小菅村の伝統と、新商品としても注目されています。これまでに小菅の湯で雑穀メニュー、雑穀クッキーが商品化されています。

最近では、雑穀ビール「ピーボ」が商品となりました。



雑穀ビール「ピーボ」の販売(8 月 22 日学芸大学にて)

＜9 月 27 日 小金井市公民館の皆様をご案内＞

当日は、「アワの収穫体験」の予定でしたが、雨のために、雑穀の取り組みについてお話をしました。



小菅村役場前で小菅村教育長によるご挨拶

＜8 月 27 日 第 15 回ミューゼス研究会の開催＞

ミューゼス研究会では小菅村の方々と、今後の展望を話し合っています。現在、サテライトの目印であるロゴマークについて検討を進めています。



『日本エコミュージアム研究会第 16 回全国大会』が、10 月 23～24 日に、山形県朝日町で開催されます。朝日町はエコミュージアムの先進地でもありますので、今年には行って見えます。（事務局）

『小菅村の動き』

編集会議の結果、小菅村の情報も連載が決まりましたので、毎号少しずつ紹介していきます！！

① コタツの時期になりました～。

今夏、熱帯夜はゼロでした。9 月中旬から冷え込みましたので、コタツを出し始めた家庭が多い様です。



今年、マイタケ(畑のマイタケ)の具合が良いとのこと。

② 10 月 10 日『大地の恵まつり第 2 弾』開催！

秋の小菅村物産祭りのお知らせです。小菅村の秋の味覚が、小菅の湯で開催されます。きのこもい～っぱい出てきますよ♪

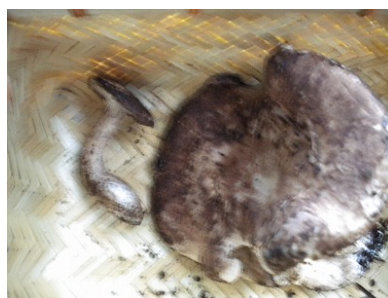


9 月 23 日にも開催しましたが、雨のために第 2 弾の開催が決定したとのこと♪

③ きのことシーズン到来！！ ついに来ました！



ハナイグチ



コウタケ

④ 柿渋染めによる手づくりバッグ展

味噌づくり講座などでお世話になっている、小菅村の木下純子さんが都内で染物の展示を行います。

展示期間中には、藍染のワークショップもありますので、ご興味のある方はご来訪ください。



題名:『Bryan x Junko Bag Exhibition』

期間:10/12(火)～17(日)

時間:11:00～19:00(最終日は 17:00 まで)

会場:「ギャラリー大屋」 日野市日野本町 4-5-13

電話:042-587-8563

JR 中央線日野駅徒歩 1 分 花輪病院向かい

16 日(土)には藍染ワークショップがあります。

※要予約: konyaleafytails@gmail.com

⑤ JR 上野原駅より 季節運行バスの開始！

東京方面より便利な交通機関です。9/25～12/12 まで、JR 中央線上野原駅より、富士急バスの発着があります。土日祝日のみの運行となります。

JR 上野原駅 8:28 発 小菅の湯行き

小菅の湯 15:20 発 JR 上野原行き

野外活動での安全性・ブヨ、ハチの対策など

小菅村では 8 月に熊の目撃情報がありました。人間及び畑などに被害を出していないため、空砲によって山へ追い返すため、猟友会員の出勤がありました。

そして今回、9 月 24 日より、「有害鳥獣捕獲」として、熊捕獲のための出勤要請が出ました。

一昨年に、奥多摩で登山家の山野井さんが、トレーニング中に熊に襲われるという事故があり、大きなケガをされました。

実際に、熊よりも、マムシよりも、死亡件数が多いのが、ハチです。

① ハチ・・・今シーズンは、ハチの被害が多かったようです。小菅村民だけでなく、本会のキャンプでも 1 件、ハチの被害がありました。猛暑の影響か、私自身も小さいものですが蜂の巣を 5 つほど駆除しました。

特に、以前ハチに刺されて抗体を獲得した大人の方が危険とのことです。お気をつけください。実際に厚生労働省のデータを見ても、45 歳以上の死亡例が多いようです。

経験が増えるほどによっては、ミツバチに刺されてもショック症状が出ることもあるらしいです。

小菅村では、ブヨ(ブユ)が多く発生しています。小菅村役場、小菅村観光協会でも、ブヨの被害に困っています。

② ブヨ・・・こちらも例年どおり発生しました。朝夕の時間帯、曇りの日、草むら、畑などに多く発生したようです。

刺された時に個人差が大きく出ます。ひどい場合は、水ぶくれ、化膿して、通院する人もいます。

対策は、肌を出さないことが一番です。また、通常の虫除けよりも「ハッカ油」が効くようで、本会のキャンプでも利用していますし、小菅村の各所で販売しています。

天敵がトンボという説があり、小菅村観光協会では、使用不可能なプールをビオトープにしてトンボを増やす努力もしています。

本会のキャンプ場もブヨがいます。参加者、スタッフの

皆様には服装とハッカ油で対策をしてもらいつつ、今年はキャンプ前、早めに草刈りをして草むらを作らないようにしました。少しは減ったと思うのですが、それでも発生していました。

自然の中で活動する以上、ケガやヤケド、虫対策として肌を露出させないことは基本だと考えています。

③ ブヨに刺された時どうするか・・・

・傷口をよく絞り、毒を取り除くこと

・傷口を搔かないように、ムヒパッチなどをすること

※(「ウェルシア薬局」が安く買えます)

・耐えられないときは冷やすこと。

・塗り薬は「ステロイド(副腎皮質ホルモン)」が効きます。しかし注意点があります。

・妊婦さんは塗ってはダメ。目の周りも塗ってはダメ。

・個人差が激しいです。ひどいと思ったらすぐに医療機関へ！！

④ 自然の中で活動することについて

9 月に富士山に登りました。スニーカーの人が多く、ザックの小さい人が多い。晴天時には問題ないけれど、悪天候やケガの時に自力での脱出(自己責任)ができるようには見えなかった。

自分とは別の集団だから、完全に他人で、心配しても意味がないので、無視することにしたが、怖いことだと思った。

ビーチサンダルの人もいた(足が擦り切れまくっていた、なぜだろう?)。これはレアケースなので笑えたが。

知らない人、初心者ほど、装備も準備も意識も低い。学生の探検部で学んだことであり、当時の自分の活動を振り返っても、ゾッとすることが多い。

「気を引き締めよう」と、よく考えた夏でした。これからきのこシーズン。ヘッドライト、非常食、地図を持っていますか？車のスペアキーは持っていますか？

携帯電話は万能ではないですよ！！

(事務局)

○ 今後の活動予定のお知らせ (2010 年秋～冬)

- 10/16～17 のびと講座『きのこキャンプ』@小菅村
 10/23～24 『日本エコミュージアム研究会第 16 回全国大会』@山形県朝日町
 11/6 『INCH・農学校の同窓会』@東京学芸大学附属環境教育実践施設
 12/11～12 のびと講座『ふたご座流星群観望会』@小菅村
 12/25～27 冒険学校『まふゆのキャンプ』@小菅村

※年明けに第 7 回通常総会を開催いたします。次号のナマステでご案内いたします。

○ 事務局より

●『「会報ナマステ」の発行が大幅に遅れてしまいました。お詫び申し上げます。

8 月は頑張っているんですが、どうも 9 月になるとスランプになりがちで……。きのこもまだ 1 回も採りにいってない……。クロ』

●『富士山に登って「高山病」を体験、かなり辛かったです。8 合目からのくだりは復活して、とても元気でした。さて、きのこシーズン。ニュースでは、やれ毒きのこだ、ハチに襲われたと言ってますが、自分の分かる範囲で楽しんでいます。はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (KIDS 会報遅延のためネタを披露♪)

- ・やぎちゃん、教員採用試験合格オメデトウ！らしい。
- ・あべちゃん、夏に中国に行って毎晩宴会だったもよう。
- ・翔くん、就職難民なもよう。がんばれ！
- ・なつこが先生になったぞ～。いいな～。教わりてえ～。
- ・匠、夏の在小菅日数がスタッフ NO1 になったもよう。
- ・弾は車の免許を取ったらしい。軽トラでも猛特訓だ～！！
- ・はるちゃん、これから就職活動するらしい。
- ・高校生スタッフ大活躍！に佐々木村長も満足のもよう。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか？

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 4 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額 (1～12 月) です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正会員：10,000 円

一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円

賛助会員 (個人・団体)：10,000 円

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会



ナマステ 101 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌
 <発行日> 2010 年 9 月 20 日
 <編集> 自然文化誌研究会 事務局
 <発行> 特定非営利活動法人

自然文化誌研究会
 The Institute of Natural and Cultural History

<事務局> 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115
 TEL & FAX：0428-87-0165
 携帯：090-3334-5328 (黒澤)
 E-mail：npo-inch@wine.plala.or.jp
 H P：http://www2.plala.or.jp/npo-inch/